

進路だより

浜田水産高校

第8号 R1.12.20

進路指導部

進路希望調査

前回の進路だよりにも書きましたが、1・2年生を対象に進路希望調査を実施します。冬休みの間に生徒と保護者でよく相談して、始業式の日に担任まで提出して下さい。できれば保護者のコメント欄にも記入があると、進路指導部としてはうれしいです。

皆さんは早いと思うかも知れませんが、年が明けると、企業の人事担当者は来年の求人のために、大学・短大・専門学校等の広報担当者は受験生確保のために本校を訪ねてきます。ある程度皆さんの進路希望を把握できていれば、ここで情報交換がスタートし、これが継続できれば早期の進路決定につなげることが可能となります。大事な調査なのでおろそかにせず、時間をかけた考えを記入して下さい。

今年の就職・進学活動から

今年の3年生は毎年実施しているガイダンスやセミナーがインフルエンザによる学級閉鎖で受けられず、例年の3年生に比べて進路指導が不十分なまま就職・進学活動に入ってしまったと感じていました。しかし、学年別活動をはじめ、応募前企業見学やオープンキャンパスへ積極的に参加し、自分たちの努力で不足していた部分を挽回したと思います。もちろん担任の先生が色々な形で支援されていましたが、進路指導部から見ても皆さんの推進力は頼もしかったですね。以上が良かった点です。

では反省点はどこだったかというと、履歴書の志望動機や、受験先の学校へ提出する志願理由書の記入に苦戦していたことです。夜遅くまで学校に残り、半分ベそをかきながら進路資料室で書いている生徒が何人もいました。急に文章を書く力がついたりしませんが、全部の生徒に志望動機や志願理由書を書く日がやって来ます。そこで、学校生活をとおして皆さんが文章を書く機会を増やせたらいいと思っています。1・2年生の皆さん、いずれ訪れる志望動機や志願理由書を書く日のために、今から準備をしておいて下さい。

避けられない面接

学力試験を課さない事業所の採用試験や、上級学校の推薦入試においても面接試験は必ず行

われます。面接試験は生徒の皆さんにとって避けて通れない道というわけです。学力試験は得点という具体的な数値による評価ですが、面接試験は試験官という人間の主観が評価を左右するかもしれません。従ってある程度の試験官対策が必要となります。

11月に行った2年生就職ガイダンスでは、講師の先生が「面接の印象は最初の15秒で決まる。」といわれていました。ある心理学の実験で、スーツを着てメガネをしている人は、ジーンズをはいている人より「知的で清潔感があり、尊敬できる」という結果が出たそうです。人を見かけで判断してはいけなしいいですが、人間は服装や髪型などで人を評価してしまう心をどこかに持っているようです。

では生徒の皆さん、面接試験においてはこの心を利用(?)した方がよいと思いませんか。高校生の自分にとってはダサイと感じる格好でも、面接官という相手が好印象をもつ格好をした方がベターでしょう。日頃からこれを意識した服装や髪型で過ごして欲しいと思います。面接試験の時だけよそ行きの格好になり、避けて通れない大一番で、イチかバチかの大勝負に出るのは避けたいですね。

進路先の変化

見にくいかも知れませんが、過去6年間の進路を県外進学、県内進学、県外就職、県内就職に分けて表したグラフを載せておきます。1・2年生の皆さんは進路希望調査記入の参考にして下さい。

